

友だちがブロックでケーキを作ったり、電話に見立てたりするのを見て、自分も同じように遊びたいという思いが出てきて、真真っこをして楽しんでいる子どもたちです。また、泣いている子がいると“どうしたのかな？”と心配そうに側へ歩み寄り、頭をなでてあげる姿も見られ、生活や遊びを通して友だちの存在に気づくことが増えてきました。

「おいで」とお互いに手招きして棚の中に入ったり、椅子に座ったりを繰り返し、キャハハ笑っています

友だちと心が通じ合うって嬉しいね

今までは保育者との関りが多かった子どもちょっと恥ずかしそうに・・・



お地藏さんに手を合わせます



二人仲良く「おやすみ〜♡」



このゆびとまれ〜♪



自分の発見を一生懸命伝えようとする姿がかわいいです



そうだ!! 何かを伝えたくて・・・

「みてみて! こっちおいで」



「せーのっ!」「もう1回しよ」とソファの背もたれから滑って大喜び! 面白いね!

向かい合ってジャンプジャンプ♪
二人で踊れば楽しさ倍増♡



「がんばれ!」と応援し、滑れると「すごい」と拍手します

転んだ子に気づくと「パッパッパッ」と砂を払います

「どれにする?」「恐竜どうぞ」



「ここに足入れて」「そうそう上手!」靴の履き方を教えています



小さい子に優しくいいこいいこ♡



Aちゃんが泣いているとK君が来て心配そうに顔を覗き込み声をかけます。Aちゃんは一瞬泣き止みますが、またシクシク泣き出します。すると、K君は自分の好きな車のブロックを取りに行き、「どうぞ」と差し出します。Aちゃんは車で遊び始め、K君はにっこり笑って嬉しそうでした。

そんな二人の姿を側で見ていたRちゃんは、「私もAちゃんのために何かしたい」と思ったようで絵本を持ってきて「どうぞ」と渡し、Aちゃんと絵本を見て何やら話していました。その後、周りにいた子どもたちも絵本や恐竜などを次々と持ってきてくれて、Aちゃんはいつの間にか泣くのを忘れて遊んでいました。周りにいた子ども、友だちのやりとりを見て「私も〇〇してあげたいな」「△△したら喜んでくれるかな?」という感じたり、考えたりして学んでいるのですね。



絵本がほしい! 気持ちが強くかっぱい引っ張り合います



E君 絵本を持ってさっと遠くへ行く。
A君 絵本がもらえず泣き出す。

保育者 「A君も絵本が欲しかったんだね」とA君を抱っこして気持ちを受けとめる。
E君 絵本を見ながらも泣いているA君が気になる、チラチラ見ている。

保育者 A君が少し落ち着いたので、「E君と一緒に見よう! って言ってみる?」と声をかける。E君の側へ行き「乗り物の絵本が好きなんだね」「A君も絵本見たいんだって。どうする?一緒に見てもいい?」と聞く。
E君 「うん」とうなずく。



仲良く車を指差して見ていました

時には、友だちと同じことをしたいがために、その子の持っている玩具を取ってしまったり、自分の気持ちをうまく伝えられずトラブルになることがあります。保育者はルールを教えることを急がずに、それぞれの子どもの気持ちを受けとめ、少しでも相手の思いに気づけるように丁寧に仲立ちをしていきたいと思ひます。